

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進			総合計画コード	652
部名	市長公室	主管課名	政策企画課	主管課部課コード	010100
関連部課名	—				

1. 施策概要

めざす目的成果	朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいて、人口減少の克服と地域経済の活性化に係る施策が計画的に推進されている。また、総合戦略の進捗が適切に管理されている。				
施策概要	朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付く施策を推進するとともに、設定された指標に基づき進捗管理を行う。その際、朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会により検証し、必要に応じ検証結果を踏まえた施策の見直しを行う。				
個別計画 関連計画	計画名称	朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略		計画期間	H 27 年度 ~ H 31 年度
					H 年度 ~ H 年度
					H 年度 ~ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	<p>全11項目の取組方針に設定したKPI(重要業績評価指標)により、実施した施策の進捗状況をまとめ管理を行った。</p> <p>朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を開催し(全1回)、総合戦略に掲げた施策の効果検証を行った。</p> <p>審議会からの意見を踏まえ今後の施策を効果的に進められるよう、効果検証結果を庁内関係課に共有した。</p> <p>平成28年度地方創生推進交付金について国に申請した結果、「市制施行50周年及びオリンピック・パラリンピックを契機としたまちの賑わい創出事業(総事業額20,480千円)」が交付金対象事業として決定した。</p>					
H28年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	遠隔地の市町村と締結した災害時相互応援協定の実効性を高めるため、よさこい鳴子踊りチームなど、平常時から交流を増やす施策を推進し、安全・安心なまちづくりにつなげた。				
	子育てがしやすいまち	子育て世帯が子どもの就学を機に本市から多く転出している統計データ上の傾向を庁内で共有し、子育てがしやすいまちを実現するための施策検討につなげた。				
	つながりのある元気なまち	地域において人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持つことができるよう、文化・スポーツ活動や社会貢献活動を支援し、つながりのある元気なまちにつなげた。				
	自然・環境に恵まれたまち	都心から近い場所に豊かな自然が残るといふ本心の恵まれた環境資源を生かし、基地跡地を中心にまちの賑わいを創出する施策について、交付金を活用して効果的に取組を進めた。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		2,990	—	—	—	—

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理 (説明) 審議会により設定された指標に基づく施策の効果検証を行い、必要に応じ施策内容を見直す。	—	推進・効果検証	推進・効果検証	推進・効果検証	推進・効果検証	—
		推進・効果検証	—	—	—	—
② (説明)						
			—	—	—	—

3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p>○ A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ○ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input checked="" type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ○ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)</p> <p>(説明) 総合戦略の施策を推進し、進捗状況をまとめ、管理した。また、総合戦略審議会を開催して施策の効果検証を行った。効果検証の結果、総合戦略は改訂せず策定当初のとおり進めることとした。さらに、国の地方創生推進交付金について申請し、「市制施行50周年及びオリンピック・パラリンピックを契機としたまちの賑わい創出事業」への交付決定を受けた。 「多様な働き方実践企業の市内認定数」や「災害時相互応援協定先との交流回数」等、一部のKPI(重要業績評価指標)については、目標を大幅に上回る実績値を示し、施策が順調に進捗している。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p>○ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ○ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ○ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない</p> <p>(説明) まち・ひと・しごと創生法において地方自治体が地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口減少の克服と地域経済の活性化に取り組むことが求められている。 東京圏へ約12万人の転入増加(平成28年度)と前年比約1万人増となり、東京一極集中傾向はさらに加速している状況であるため、人口減少の克服と地域経済の活性化に引き続き取り組む必要がある。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>(説明) 国の動向を踏まえつつ、必要に応じ戦略の見直しに取り組む必要がある。産・官・学・金・労・言に代表される市の利害関係者を広く巻き込んで施策を検討・推進していくことが求められている。</p>

4. 今後の展開方針[部としての判断]

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し</p> <p>(説明) 今後も、第5次総合計画との整合性を図りつつ、施策の進捗状況を評価するための指標により、施策の効果を検証することで、総合戦略の適正な進捗管理と効果的な推進に取り組んでいく。その際、国の交付金等を積極的に活用し、効果的に施策を展開していく。</p>																																													
<p>行政と市民の役割分担</p>	<p>○ I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 ○ III 市民の関与(役割)を拡大</p> <p>(説明) 第5次総合計画基本構想の制作【参加と協働】市民の視点から総合戦略の取り組みに対する意見を伺うため、総合戦略審議会に市民公募委員の枠を設けている。</p>																																													
<p>施策を構成する事務事業の次年度の方向性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事務事業名</th> <th colspan="2">総コスト(事業費+人件費)</th> <th rowspan="2">有効性 貢献度</th> <th rowspan="2">優先性 緊急性</th> <th rowspan="2">H30に向けた 投入資源の方向性</th> </tr> <tr> <th>H27決算</th> <th>H28決算見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進</td> <td>15,072</td> <td>2,990</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>2 総合計画推進事業</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計 (単位:千円)</td> <td>15,072</td> <td>2,990</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性	H27決算	H28決算見込	1 朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進	15,072	2,990	5	5	現状のまま	2 総合計画推進事業	-	-	5	5	現状のまま	3						4						5						計 (単位:千円)	15,072	2,990	—	—	—	<p><input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載</p>
事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性				H30に向けた 投入資源の方向性																																						
	H27決算	H28決算見込																																												
1 朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進	15,072	2,990	5	5	現状のまま																																									
2 総合計画推進事業	-	-	5	5	現状のまま																																									
3																																														
4																																														
5																																														
計 (単位:千円)	15,072	2,990	—	—	—																																									
<p>審議会等の第三者機関の評価(意見)</p>	<p>【朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会】 国の交付金が引き金となって引き続き本格的な事業につながった等、今後の政策にどのようにつながっていくか、という視点での検証が重要である。交付金が無くなったら事業終了とならないよう留意願いたい。</p>																																													
<p>部長の意見</p>	<p>市の人口動態など、統計データの傾向を常に把握し、政策立案に活かすよう努めるとともに、引き続き、国の交付金の効果的な活用に努める。</p>																																													